

# あまやみ



高見 倦  
(いぢみく)

竹下君、裕子さん御結婚おめでとうございませう。僕も、竹下君とは大学のSF研究会に入部以来の縁で、たくさんの仲間といっしょに、マイナーな訳のわからないことをして楽しい学生生活を営んでいました。サラリーマン一年生だった、三年前の夏、竹下君と僕は彼の車で、葉山方面へくりだすことにしたのですが、その時彼は、社内の女性をふたり誘って来てくれました。その時のひとり誘って来てくれました。とても明るい方だったので記憶していません。

「あの時は、なんでもなかったけど、僕は竹下君の氏談と云っていましたが、御結婚を決意されるまでの間に、裕子さんと、あなたと、竹下君を知っている者のひとりとして、断言できません。裕子さんは、あなたと、竹下君を知りたえない家庭になるのは、御幸福に目みえていませう。」

# あまやみ



ととみ裕則

竹下さん、一応おめでたいんでしょね。急にお出するから原稿を書けと、いわれども困りました。あとに誰が続けるかはわからないうえ、とに草分けなところ、そとろ車も替え時じゃないかな。

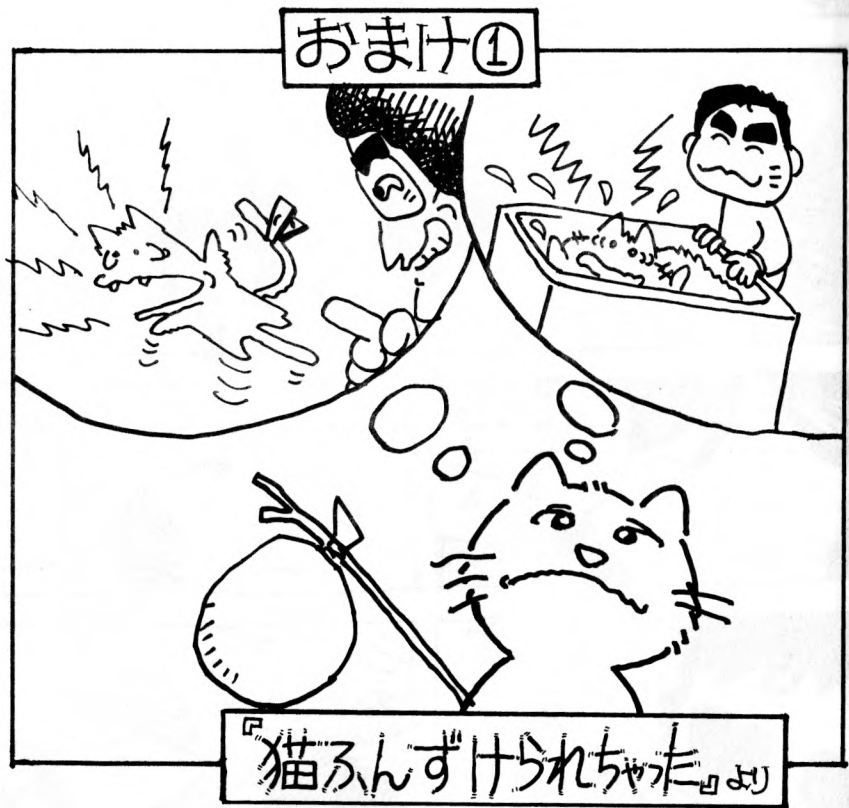
★新婚の時は、スペシャルフライベイトカールフレリユード  
★子供が起きたら、使い勝手のよい、アコード・ハッチバック  
★子供が大きくなったら、ゆとりサイズのワゴン・サルーン  
★子供が車を欲しがれば、ロシナイ・ターボ  
子供が一人前になって二人だけ出かけたくなつた時には、またすばらしい車が出来ているはず。なんてね。

お二人の前途が、すばらしいものでありませう。急にいわれたもので、こんなもんでしょ。



ぼちるす

冗談じゃなからるか？



おまけ①

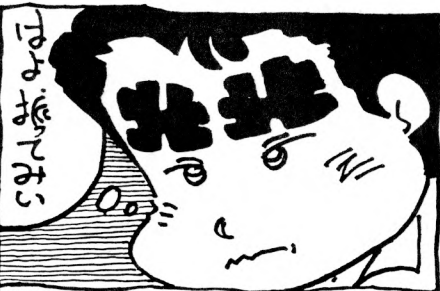
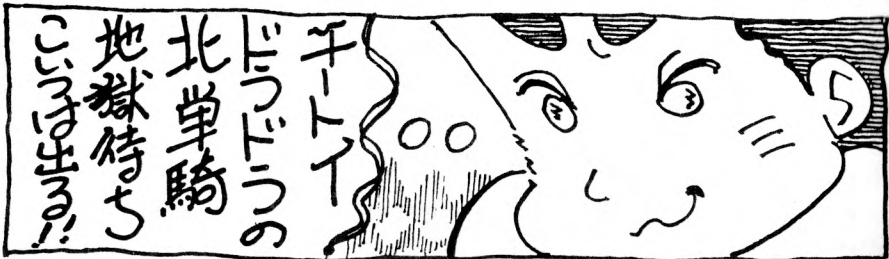
「猫ふんずけられちゃったよ」

お山て人な談いて輩はSめこの初私ご申に卓竹  
 めさんSが研がいたくだてに私Fもてのめ私にましまし鎖下  
 だんがF研にヤた上、と思上もF研何うなめにとました線さん  
 たいが研にクた野、野上野野何んやうてなと御結婚によ、  
 のが結にその人ありと、エンターテイナリとし  
 むめでたいものであります。\* \* \* \* \*大変  
 人Fに、野山さんという冗談のような  
 なく、上野山さんという冗談のような  
 談だと、野山さんという冗談のような  
 いて、上野山さんという冗談のような  
 輩に、上野山さんという冗談のような  
 は、私も上野山さんという冗談のような  
 S F 研 何 年 前 の 頃 へ 先  
 め、このように華々しく行なうのは、初  
 このように華々しく行なうのは、初  
 めて、このように華々しく行なうのは、初  
 このように華々しく行なうのは、初  
 このように華々しく行なうのは、初  
 このように華々しく行なうのは、初  
 このように華々しく行なうのは、初

# ゴンがぐぐ下し物

## PART ②

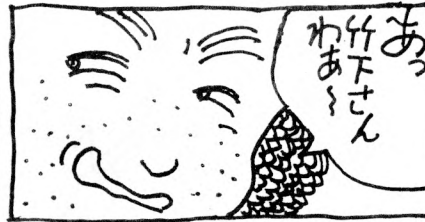
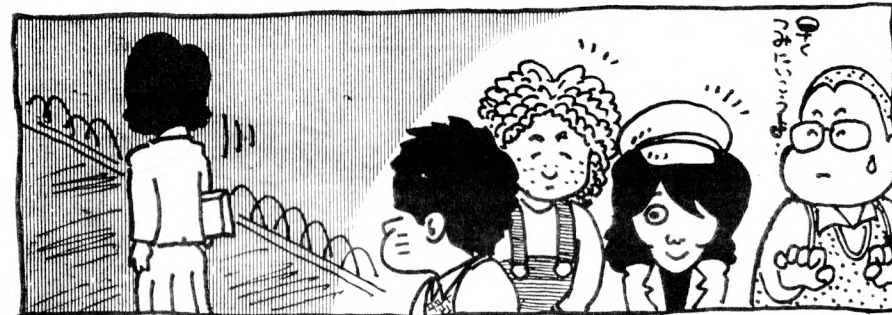
2021.3



# ゴンがぐぐ下し物

## PART ①

2021.3



# 竹下けい

## 創作年表

- 1976  
 5.10 明治大学SF研究会 入部  
 6.20 「HOBBY」第6号 発行(編集長、いど ゆりあ) デビュー作  
 11.29 19回目の誕生日  
 12.3 追波カンニング文庫 発行 → 不発  
 12.20 「一糸鎖線」創刊(編集長 わらべ あきみと)  
『盗作・マッチ売りの少女』
- 1977  
 6.16 SF童話研究局 発足(主幹 わらべ)  
 6.20 「一糸鎖線」2号 発刊手前  
 6.22 チロリン村 ハンコ10個達成  
 6.27 SF童話研究局 解散  
(闇の組織のはずなのに、広まってまたからしい)  
 6.29 チロンヌッフ童話工房 発足(主幹 わらべ)  
 7.1 イルカ・キラキラリサیتال イン水戸(わらべ と共に)  
 7.20 「チロンヌッフ」創刊 『羊ガ一匹、羊ガニ匹...』を發表  
 7.31 「一糸鎖線」第2号(編集長 染沢 たかし)  
 11.11 「細胞具新聞」復刊 第1号 (竹下氏 編集長に就任)  
 12.17 「チロンヌッフ」第2号 『人間』(「HOBBY」6号の再録)  
 12.23 「HOBBY」第8号 『羊ガ一匹羊ガニ匹...』(「チロンヌッフ」再録)  
 12.31 「一糸鎖線」第3号 (編集長 わらべ)
- 1978  
 1.20 「細胞具新聞」第2号  
 5.29 「細胞具新聞」第3号  
 7.3 『トロピカル フィッシュの恋』(原稿をわらべ氏がなくした為に幻の名作と呼ばれている)  
 7.24 「チロンヌッフ」第3号 『袖々の袴リ』  
『猫、ふんすけられちゃった』連載開始  
 10.1 「チロンヌッフ」秋の増刊号 『風来坊』  
 12.1 「一糸鎖線」第4号 リレー連作『その時』第6回目、担当  
 12.17 「チロンヌッフ」第4号 初のオフセット印刷  
『天国と地獄のレクイエム』『猫、ふんすけられちゃった』第2回
- 1979  
 3.31 「色ガラスの地球儀」(いど ゆりあ 作品集)チロンヌッフ5号 発刊  
 11.9 「細胞具新聞」第4号  
 11.15 「細胞具新聞」第5号
- 1980  
 3. 『猫、ふんすけられちゃった』第3回め(本号掲載)  
 3. 「チロンヌッフ」夏の増刊号(『みさきちっく ギャルズ』)  
 11.22 「一糸鎖線」第6号  
▲岬とおる イラスト集  
 ~ 卒業生 特集号(編集 三鬼亮輔 + 左手はおゆき)
- 1983  
 5.14 「一糸鎖線」~竹下けい結婚特集号(編集長 わらべ)  
『猫、ふんすけられちゃった』第3回めと完結編  
 『私は、こうしてSF研した〜戦後SF研史』  
 第1回、明治大学SF研究会 追波賞 受賞  
 受賞作 『トロピカル フィッシュの恋』

おまけ② = おお.こわ.=

### 竹下けい麻雀放棄事件



りわ放こや困いと竹のもてはだ同ーた手！岬ー べ  
 もせ乗れろる零隣下ラういは。時口。をな。園あそそある  
 せる事がラー屈のはち切なーここにー 放奴カとるのしる  
 す顔件Sーと気自ー、いまれン くだバ(園)局時て夜  
 ガ。斥のフガ室こニたーだがあ！ 瞬。ヤガ、臭、  
 麻なで研声ぶ漂にん人ーと、ッし 向そは切わ、竹追  
 雀かあ史。ヤうこなはと云手も、勢、し思、ら竹下波  
 をる上本く。も麻エ云いをめ止い わていてべ下氏莊  
 ずた。有気と誰、雀スいい放なめよ ら竹切あ氏氏とで、  
 るとそ名で降かて、かい、しいたく べ下りるはは卓、  
 の思のな怒のがしヤレ、わては。牌 氏氏(園)かり最をカ  
 でう後、フ自、まフー水らいすほを に。をりー下田バ  
 あ。竹て室ーってト掛べなはん倒 は(園)切(分)于位んや、  
 っぞ竹下いかこたらしけはいなとそ ぞをるはをでで  
 たし下けたられ。れ、論、かいらう れ切。通があい岬  
 て。氏いの、だ気るっだいら。にと をろるけった、  
 は麻だばかまかい。や切竹同し 見うッじた。た。わら  
 こ会雀。からずどにぞ、下時た えとキと。ら

# 箕ヶいを斬る

わらべあきひら

昭和五年、「HOBV」誌上において「人間」でアピューとした竹下けいは、微妙な筆致にあり、あの何とも云えない絶妙な「かつの短い」な竹下けいから生みだされるものは、全く想像できない。ほんとはすごく淋しがり屋なのかもしれない。竹下氏は、ほんとはすごく淋しがりとして、もつとつ。作風の中に現代において生活を営む我々に警告を与えて、いろいろな事を見逃してはならない。神をテーマに扱った作品が、多いことから、それが云えるだろう。神を人間では人間の虚しさや語りかけているし、それが云えるだろう。神を人間では人間キリスト様とおしゃかして、それが云えるだろう。神を人間では人間れぬ時代な感じだ。「しゃカケンカをするなど、神を人間では人間は高く評価すべきである。SF童話というジャンルで書きこなししている矣

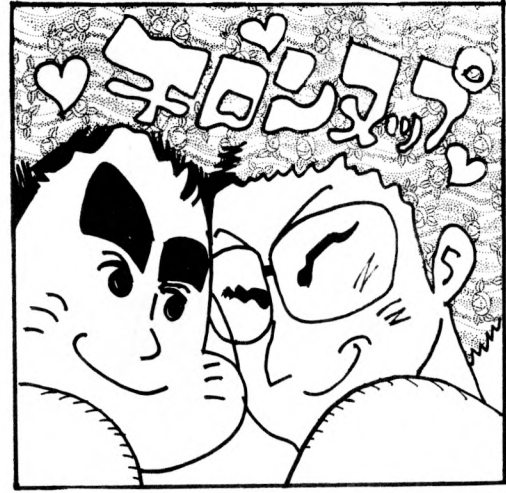
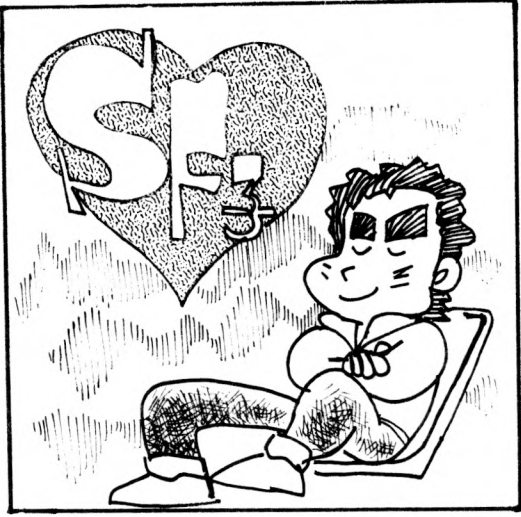
竹下けいの文章力は、彼の才能から出てくるばかりではない。彼の現れられているものなだ。白頃の高ぶる行動がそのまま文章となつて現れられている。竹下けいには、創作においてはそれほどの時間をかけないものがある。何も考えないのだから、竹下けいには、竹下けいというものが、既に「モア小説」として見えているだけである。竹下けいには、あの急権で汚れない部屋、彼は、明治大学SF研究会にとつて最大の作家なのだ。

わらべ氏が「ヒロシ」の存在があったからだ。彼自身のユニークなキャラクター、竹下けい、左手氏、かとうくん氏、千原氏を巻き込んだとも云える。後、竹下けいとの出会いがなければ、もつと私の大学生活は暗く、もし竹下けいと会えなかったら、まじまじにイルカとイルカに写真映れたら、だろ、わらべ氏の性格からいって、うんと陥ち込み、取得単位で激しいデッド・ヒートをして卒業単位線以上で争ったことも、非常に大きい。

は、特筆すべきことだ。この時期に絶妙なタイミンクで、結婚するのは、次回、ユーモア小説を生まることを期待する。それは、男や女か、はたまた、双子、いや、三ツ子かもしれない。へおしまい。







を見出し、また新しい戦場へと向うのだった。私と「わらう」は、この中で次の新しい戦いから「生田」へ向う小田急電車の中で決定した。「新宿」から「生

「チロンヌツァ」なんという素晴らしい響きだろう。内  
に密めたその優しさの発露。私と「わらう」は酔った。  
そ、甘美なまるの甘いささやきに。  
私の甘味は、ついに作戦を全面展開した。その成果はすさま  
じいもの波が銀河を駆けめぐる。人々は「チロンヌツァ」は  
解放の喜びに酔いしれた。そして「チロンヌツァ」は、I  
に続き、II、IIIとなり続々と結ばれた。ますます「チロンヌツ  
ッ」は、強大となり「SF」と戦つてかみかみしてしまふと  
部屋は「チロンヌツァ」と戦つてかみかみしてしまふと、  
部屋は「チロンヌツァ」と戦つてかみかみしてしまふと、

オフセット版「チロンヌツァ」が実行されたのは、  
まさにな「チロンヌツァ」一色に宇宙はめりつぶされ、  
どんな辺境の銀河にも、その影響がおよんでいっただ  
べつの惑星を席卷し、生命体すべてにその恩恵を与え  
のだった。

「細陀具新園」は、私が生田の狂気―新井さんから受け  
継いだ、突発的「リ」作戦の総称である。「チロンヌツ  
ッ」全盛のこの時期に、唯一その存在を認められ、極地  
戦での支援能力が高く評価された。「変醜主幹」を任命され  
た私にとつて、大変光栄なことであった。

「夢幻鬼童」は新世代の作戦であった。我々リルジャ  
ーが四年の在務期をを終了する頃、それは生まれた。我  
々が、それを以前の作戦を一新した様に、我々の遺産を受  
けつぐ者たちも全く同様に「夢幻鬼童」は生まれたので  
ある。

我々は四年間の任務を完了すると、再び一般社会へと  
帰る。中には、その特性をかわれ、四年間延長となるも  
の。その中で、現実のほとんどもは一般社会へ復帰した。  
古本屋での会いびきや、唯一の執拗な攻撃は続き、たま  
に「子」さん「(我妻ひでお)の「S」の文字は決して切り離さない  
信じている。私はこの「SF」の「S」の文字は決して切り離さない  
命おのおの、我々「SF」の聖痕を持つ兄弟たちよ。我々の生

へおしまい



# I Love 細胞具新聞

我々追波倶楽部特務班は  
ついに竹下けいの取材風景をキセツチ!!



細胞具新聞は こうして作られた!!

## おまけ③



「真鎖線 Vol.6 表紙より」

今日も、情報が入ると竹下丸は電光石火、出勤だ

東京地裁での勝訴  
「ふきん屋」の慰霊を抱き、涙する〇〇氏

「なんか、いいネタないかな」

私は今……  
どこにいるのじゃ……

インタビュー、申し込みの電話にも熱が入る

さらに我々は恐るべき事実  
突き当るのであった!!

もし、お元気ですか

